

2025年度 学位授与式 理事長式辞

本日、青森公立大学の学部及び大学院を卒業・修了されます288名の皆さん、誠におめでとうございます。これまで陰ながら皆さんを励まし支えてこられました保護者の皆様、関係者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

さて、今日は、理事長としてというよりも社会人の先輩として、皆さんに贖の言葉を述べさせていただきたいと思います。

私は、皆さんと同じように、大学を卒業した後、青森県職員として採用され、社会人としての歩みをスタートさせました。

4月1日に当時の北村知事から辞令を交付されましたが、その時の訓示の言葉を今も鮮明に記憶しています。

その内容は、「人間の本当の価値というものは、逆境の時にどんな生き方をするかで決まるのだ」というものでした。

人間万事塞翁が馬という中国の諺があります。これから皆さんを待ち受けている長い社会人生活には、失敗はつきものです。不幸にして冷遇されることもあります。人によっては何回も何回も失敗するかもしれません。

しかし、大事なことは、そこから立ち上がることです。意気消沈してやる気を失っている人間と、失敗から学び、日々研鑽を積み重ね、諦めない人間との間には雲泥の差ができていくのです。

かくいう私も、30代の頃、閑職に追いやられていた時期がありました。その時私が一生懸命にしたことは、庁外の人たちとの仲間づくりでした。その中には、後に、マスコミの代表や国会議員になった人物もいます。こうして30代に築いた人脈が、今では、私にとってかけがえのない財産となっているのです。

逆境の時のあなたの貴重な経験が、きっとあなたの成長を後押ししてくれるはずです。そして、不思議なことに、あなたの真摯に努力を重ねる姿を見て応援してくれる人が必ず現れます。

青森県は、昨年末大きな地震に見舞われました。そして、イランでの戦争の勃発は、我が国の生命線である原油の供給を脅かしています。一方で、急速に進む生成AIの技術革新は、我々の仕事の仕方を大きく変えていくはずです。

皆さんには、こうした時代だからこそ、社会の変化を、大きなチャンスとしてとらえ、何事にも失敗を恐れることなく積極的に挑戦し、新しい時代を切り拓いていただきたいと思います。

結びに、皆さんが、この青森公立大学で学んだことに誇りを持ち、充実した人生を送られますことを心から祈念し、式辞といたします。

2026年3月14日

公立大学法人 青森公立大学 理事長 高坂 幹